



ホームページ <https://www.masashi-matsumaru.com/>

文京区障害者・児の日中一時支援事業がスタートしました

「18歳の壁」を乗り越え、地域で安心して暮らし続けるために令和8年4月から、「障害者・児の日中一時支援事業」が始まりました。

この事業は、障害福祉サービス終了後の夕方の時間帯に施設を活用し、障害者や障害児が安心して過ごせる居場所を提供するものです。

対象となるのは、常時介助が必要な18歳以上の障害者と中学生・高校生世代の障害児で、ご家族が就労している場合などに利用できます。

午後4時から午後7時まで見守り支援を行い、帰宅時には送迎サービスも実施されます。障害のある方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、ご家族の負担軽減にもつながる新たな支援として期待されています。



事業を担う「ふる里学舎本郷」

📍 住所 本郷2-21-7

☎ 電話 03-5803-2333



受入れ日時

月曜～金曜(年末年始、祝日を除く)
午後4時～午後7時



定員

5名 / 1日

利用には受給者証が必要です

サービス利用に係る申請手続きが必要です。障害の種別により障害福祉課の各担当へ、サービスの申請をしてください。

知的障害の方

文京区障害福祉課知的障害者支援係
電話 03-5803-1214

身体障害の方

文京区障害福祉課身体障害者支援係
電話 03-5803-1219

問合せ

社会福祉法人 佑啓会 ふる里学舎本郷
電話 03-5803-2333/FAX 03-5803-2340

松丸まさしは2月の定例議会でこの議題を取り上げました



障がい児の「歳の壁」

問

令和8年度重点施策に日中一時支援事業所の運営費及び開設費用の補助を盛り込んでいますが、どのような事業者にアプローチするのか伺います。

区長

区内障害福祉サービス事業所等に協力を求めています。今後、利用者の送迎等の課題も含め、事業所と協議を重ね、事業実施に向けて進めていきます。

高齢者の総合的支援について

問

単身高齢者が増えている現状を踏まえ、身寄りのない人への対応が新たな課題と捉えますが、区の認識を伺います。

区長

血縁や地縁、社縁の希薄化や地域の担い手不足等が課題であり、地域資源の更なる掘り起しや地域活動の活性化等が重要と考えています。

高次脳機能障害者への支援を

問

脳機能障害は周囲から誤解されやすく、支援を求めにくい、学業や仕事などを断念する事もあると聞いています。このようなことが起こらないよう取り組んでほしいが、伺います。

区長

講演会やハンドブック配布等を行い、周知啓発や理解促進を図っている。また、専門医の個別相談会や支援員配置、東京都心身障害者福祉センターとも連携しています。今後も支援体制の充実に努めます。

高齢者向け 新型コロナワクチン及び インフルエンザワクチン 定期予防接種について



高齢者
インフルエンザ
ワクチン定期接種

	1 新型コロナワクチン定期接種	2 インフルエンザワクチン定期接種
対 象	接種日に文京区に住民登録があり、次の①または②に該当し、自らの意思で接種を希望される方 ① 65 歳以上の方 ② 60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能、またはHIVによる免疫の機能に重い障害があることにより、身体障害者手帳 1 級を所有する方	
接 種 期 間	令和8年10月1日から 令和9年3月31日まで(予定)	令和8年10月1日から 令和9年1月31日まで(予定)
自己負担額	3,500円	なし(全額助成)



「若者計画」を策定！ Bunkyo Night Youth Loungeがオープン！



文京区では若い方々への行政サービスの充実、意見聴取の体制整備等を目指して、令和7年度に「若者計画」の策定をしました。

その中で実施したアンケート調査においてお声や公明党によせられたご要望を踏まえて、自由に活用できるスペースの整備をすることになり、8月7日(金)18時からまずは千駄木エリアでスタートします。

● 若者計画

● Bunkyo Night Youth Lounge



公明党文京区議団は、令和5年6月、9月、令和6年2月、令和7年9月の本会議などにおいて「子ども・若者の声を区政に届ける体制が必要」等との若者支援について質問を行うなどして若い方々への行政サービスの充実を求めてきました。
引き続き、若い方々のニーズを捉えた施策の充実に向けて頑張ります。